

神の国と威信、連帯、権力

お金と一緒に私達の社会が大切にするのは**威信**、**ステータス**だ。昔は士農工商があった。一番上に天皇と侍が居て、一番下に穢多（ゑた、えた）と非人がいた。今もステータスが高い人がいる。教育でもそうだ。ステータスの高い学校、大学、また仕事、車の番号でも一品川番号—とか住む場所もそうだ。東京の麻布とか田園調布とか、教会の中でも古い信者と新しい信者、古い信者が新しい信者を見下す事がある。

私達はステータス、威信のはしごに登りたいと思っている。しかし、イエスは社会の小さな人々を探し出して一緒に時間を過す事にしたのだ。

キリスト教の歴史を見たら聖人ははしごを登るよりはしごを降りることに努力した。聖フランシスコのように、自分から総てを捨ててホームレスになった聖人もいた。神の国にはステータスの高い低いはなく、皆同じステータスを持っている。神の国に入りたいと思う人は高いステータスを早く捨てなければならない。イエスがよく教えたのは、皆の僕になりなさいということだ。例えば有名な話ですが、イエスは弟子達の足を洗い（ヨハネ 13 章）、弟子達にもそうするように教えた箇所がある。

またマルコの 9：35 にイエスは「**いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい**」と。これも富と同じように中々理解しにくい、教会の中にもいろんな差別があるのです。皆平等ではない。特に女性に対して差別がある、世界の教会の歴史に女性は司祭になったことがあるようなのに、女性は司祭などになることが許されないでいる。

連帯

小学生の時、私と兄弟は通学中、公立小学校の前を歩いていた時、公立小学校の生徒達は石を投げ私達を侮辱した。私達の制服を見てカトリック信者だと知っていた。何故かというと、オーストラリアは 200 年前にイギリスの植民地となっていた。植民地の支配者はイギリスの聖公会を優先してカトリッ

ク教会を差別した。200年前からカトリックに対しての差別があった。ハイスクールの時もそうだった、すぐ近くにプロテスタントのハイスクールがあって侮辱し合い殴り合いもよくあった。フットボールの試合中でも殴り合いがよくあった。

この裏にアイルランドとイギリスの歴史がある。大昔イギリスがアイルランドを侵略してアイルランドを植民地とした。今でもアイルランドの一部はイギリスの植民地となっている。今も多くのアイルランドの人々はイギリス人の事を大嫌いだ。同じような歴史の為、日本人と韓国人は互いに嫌っている。ある信者さんの娘さんはアメリカに勉強に行った。母親は娘さんが黒人と結婚することを心配していた。

日本のある教会で聞いた話だが、ある信者さんは退職するまでトヨタの車を販売していた。その人は他の車のメーカーの車を運転していた人々を嫌いだと言っていた。

熊本の人から聞いた話だが、連れ合いの家は侍の家だったため、連れ合いの兄は働く事を全面的に拒否した。侍は普通の仕事をやる必要はない。また連れ合いは息子が庶民と結婚する事に反対した。

熊本の「命の電話」から聞いた話で、ある人が結婚した後、連れ合いが部落の人だと親戚は判って、別れるように圧力をかけた。また、先輩から聞いた話だが、関西の方である信者さんは部落出身の信者さんを見下す、軽蔑することもある。部落の信者さんは韓国人の信者さんを同じように見下す、軽蔑することもある。つまり教会の中にも階級、差別がある。こういう状況は良いだろうか。

「わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」（マタイ5：44）つまりイエスが教えているのは中国人も韓国人も朝鮮人も愛さなければならない。神の国では皆同じだ。国籍も無い、宗教もない、階級も無い、皆同じ人間で同じ神の子供だからだ。日本の歴史に有名な話の一つは忠臣蔵がある。主人が死なされた為とその侍達は復讐を計らって相手を殺してしまう。これは良くなかった。復讐を計らう事、人を殺す事は、

神様の立場から考えるとその人を許すべきだった。だから私達は当たり前と
思っている人間関係、社会の構造などを考え直す必要がある。

それから**権力**、**力**の事を考えたい。アメリカの話だが、ある司教が亡くなっ
た時に、その教区のある司祭は次の司教になると思ってしまって司教の服を
買ってしまった。しかし自分ではなくて別の司祭が選ばれた。教会の中にも
偉くなりたいと思う人は少なく無い。司教も中にも教会のはしごに登りたい
と思っている人もいる。皆偉くなりたい、人の上に立ちたい、尊敬されたい。
ひどい人は他の人を騙す、搾取する、政治家は国民を代表するより、代表者
となるより、国民を助けることより、懐、賄賂を受け取り、汚職、自分の事
を優先する。また男性が女性を支配する、利用する。どこの国もそうだと思
うが、女性に差別の無い国はないだろう。勿論教会も同じだ。教会の中で権
力を持つのは男性だけだ。これは世界、社会の考え方だがイエスのやり方、
神の国のやり方とは違う。ヨハネの 13 章にイエスは弟子達の足を洗った。
弟子達にもお互いに同じようにするよう戒める、教えるのだ。2000 年が経っ
ているのに私達はこの基本的な事をまだ理解していない。

エクササイズ

次回のセッションの準備として

「キリスト教以前のイエス」 第十三章 政治と宗教